

現地ルポ

おかず代から
青色申告まで

〈菊池市南古閑の婦人グループ活動〉

おかず代十円也

農村の食生活はとかく副食に弱いものだ。そこで、栄養改善は一番におかずの工夫から、という目標をグループ活動の課題としてとり上げた。

これによつて栄養的にもバランスのとれた美味しい食事をと、月一回のおかず研究会では、普及員の水上さんと呼んで腕にヨリをかけての猛勉強。

ご用の時は黒板に

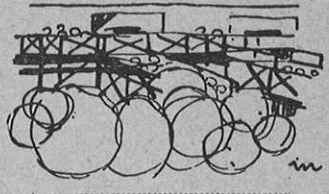
この頃からグループ員の間で家計簿をつけようという意見が強くなってきた。

グループの研究で、家計簿の形式をいろいろと検討したが、結局は費用別に記帳し、収支決算を出す方法を採

税務署員もビツクリ

この頃では家計簿の記帳もすっかり板について、各農家の予算生活も着々実行に移されてきた。

グループではこのほか昨年からの生活改善貯金をはじめたり、講師を呼んで話を聞く会を開いたり、親子ピクニックに出かけた。

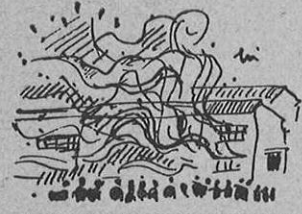


自動選果機

「粒が揃っていない」と云う批判もあった。即ち「選果」がまずいというわけ。

「熊本かん」は、東京、大阪、北九州方面へどしどし出荷されているが品質は優秀だが

で全国で三番目の大型自動選果機を総工費二千六百余万円で設置した。



学校火災

毎年十二月から一月、二月、三月は学校火災が多い季節。特に十二月には昨年中に全国で五十四校も火災で焼けており、一年中で最も多い。

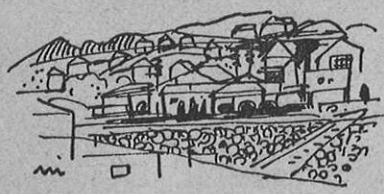


交差点

近年六月の近畿、中部などの集中豪雨では、各地でがけくずれや土砂の流失、家屋の倒壊などの宅地災害が起つてい

このような宅地の乱造を規制する狙いで、さきの臨時国会で成立したのがこの「宅地造成等規制法」

宅地造成等規成法



尾田さん

やり甲斐のある仕事

一島の衛生主任のメモから

尾田 武

昔から、天草は三段百姓、御所浦は一段百姓とよく云われてきた。

私は北九州の生活体験から、この島で大切なことは公衆衛生だと直感した。

村造りの目標を「健康と産業の増進」におかれて

「ごころなごつ、他人の夫婦の交りまで、どうもうい婉でよかるてなア

「天草郡御所浦村 厚生課衛生主任」

歳末たすけあい運動



また、いま一つの特徴は、たすけあい活動を小地域だけにとどめるだけでなく、災害地や沖繩などまでも関心をひろげ、義捐金を送ろうというこ

(社会福祉協議会)